

第8回 ホンネで語ろう「ぼうさい」イブニングカフェ

コロナ禍において当学会の研究発表会もオンライン開催となるなどなかなか皆様と顔を合わせて意見交換する機会に恵まれない状況にあります。この機会をとらえて、インターネット上で肩の凝らない、しかし、本質的な議論をできる場を作りたいと考えております。学会員でない方もご参加いただけます。コーヒー片手に気軽にご参加ください。

最近よく耳にする「災害ケースマネジメント」ってなに？

日時:2023年8月24日(木) 15:00~16:15

○開催方法:ZOOM

○申込方法:以下、URLからお申し込みください。(定員100名。定員になり次第締切させていただきます。)

<https://kyoto-u-edu.zoom.us/meeting/register/tZlvdOqtzsqG9HrWK-WMSDcBC9jevXiSUoJ>

登録後、ミーティング参加に関する情報の確認メールが届きます。



○主催:日本自然災害学会

○連絡先:日本自然災害学会 中国・四国地区世話人 徳島大学 井若和久・金井純子

email: tokushima-minami@tokushima-u.ac.jp (井若)

○趣旨

最近、被災者支援の手法として、「災害ケースマネジメント」という言葉を耳にすることが多くなりました。「災害ケースマネジメント」とは、「被災者一人ひとりの被災状況や生活状況の課題等を個別の相談等により把握した上で、必要に応じ専門的な能力をもつ関係者と連携しながら、当該課題等の解消に向けて継続的に支援することにより、被災者の自立・生活再建が進むようマネジメントする取組」(内閣府)のことです。

「災害ケースマネジメント」は、2005年のハリケーン・カトリーナで甚大な被害を受けたアメリカ合衆国において実施され、我が国においても、東日本大震災の仙台市の取組から全国の被災地に広がり、国もその取組を推進するために、取組事例集や実施の手引の作成から、防災基本計画へ位置づけ等が行われています。

今回は、「災害ケースマネジメント」について、学識×現場の最前線で奮闘中の最強コンビをお招きし、被災者「誰一人取り残さない」社会の実現に向けて、私達一人ひとりができることについて考えます。

○スケジュール

15:00-15:05 趣旨説明とタイムテーブル

15:05-15:45 「災害ケースマネジメントの概要と全国の動向」(菅野氏)

「災害ケースマネジメントの制度化と現場の声」(阿部氏)

「未災地徳島での災害ケースマネジメントの準備」(井若)

15:45-16:10 フリーディスカッション

16:10-16:15 まとめ



○Speakers

大阪公立大学大学院文学研究科准教授 菅野 拓 氏

認定 NPO 法人フードバンク岩手事務局長 3.11 から未来の災害復興制度を提案する会代表 阿部 知幸 氏